

2008 年度

科目名 問題解決論	対象学科・学年 人間社 3 回生	担当者 中山 貞敏
授業テーマ 「問題解決」より「問題の把握」が大事		
授業の概要と目標 授業目標 問題を構造的に理解し他人に説明できる。問題を「ひねる」ことができる。 授業概要 ビジネスの場で日々起こる問題。簡単な事例を通して、その構造を理解し、解決のためのスキルを身につけていきます。また、自ら設定した問題を解決していくことを通じて、実践的な力を養っていきます。		
評価方法 発表とそれに用いる作成資料により評価します。（詳細な評価基準は、初回の授業でお知らせするので必ず出席すること）		
テキスト プリント配付	著者	出版社
参考書 授業中に適宜指示します	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ビジネスの現場では、日々問題が生じています。そこで働く人々は、常にその問題解決を迫られています。ビジネスの場で求められる問題解決の条件は、スピードとわかりやすさです。ところで、「問題」とは、表面化した現象を言いますが、その原因（すなわち、これが「解決すべき課題」です）はひとつではなく、原因が複数におよび、しかも一層だけでなく多層構造になっている場合がほとんどです。これを論理的に解きほぐし、問題を他人と共有できる状態にするとところから解決が始まります。 1 回 講義ガイダンス（内容説明・評価基準の詳細・授業ルールなど） 2 回 問題には構造がある（ビデオによる事例） 3～4 回 簡単な問題解決（演習）の実施と発表 5 回 問題解決の基礎スキル 1（問題の構造的把握・思考の重要性） 6 回 問題解決の基礎スキル 2（問題を「拡大」する⇔問題を「限定」する）（問題を「ひねる」） 7 回 問題解決の基礎スキル 3（問題を「ひねる」） 8 回 問題解決の基礎スキル 4（失敗を恐れない） 9 回 各自の問題設定 10 回～12 回 問題解決の実施 13 回 中間発表 14 回 解決案のブラッシュアップ 15 回 発表		